

森のおくりもの 1月



オニグルミの冬芽（クルミ科）



葉が落ちたあと（葉痕ようこん）を観察していると人の顔や動物の顔にみえてくる
ことがあります。今年の干支にちなんで羊の顔をさがしてみました。

写真：齋 正宏（レンジャー）

新年あけましておめでとうございます。新年を迎え、新たな森のはじまり
です。今年も太白山自然観察の森をスタッフ共々よろしく願いいたします。
また、センター内では、たくさんの野鳥をご覧いただけるバードテーブルや
楽しい冬の展示を用意し皆様のお越しをお待ちしております。

（館長 菊池正行）

舌打ちしてるのだから？ ミソサザイ（鶇鶇）

ヤブの中から、♪「ちゃっ、ちゃっ」と舌打ちしているような、鳴き声が……。出て来たのは、小さな**ミソサザイ**。大きさは、日本で一番小さいクイタダキと同じぐらい。春になると、それはそれは、大きな美しい鳴き声でさえずります。こんな小さな体からは想像できないぐらいの大きな声で。冬になると低山まで降りてくるので、観察の森でも、冬から春先まで姿を見ることができます。暖かくなると、高い山へ戻ってしまい、残念ながら、巣や子育てを見ることはできません。2カ所の出入り口があるという変わった巣を一度、見てみたいものです。

地鳴きの声は、川沿いのヤブの中からよく聞こえますが、ヨシの湿地、いこいの道、はおとの道などに姿を現すこともあります。

- 巣作りは分担制。オスが基礎をつくり仕上げはメスがするよ。
- 一夫多妻で、抱卵、育雛はメスだけで行うよ。

● エサは、動物食で、昆虫・クモ類を食べるよ。

● 尾羽をピンとたてるのでシルエットでもわかります。

【全長：約11cm】

【体重：約7-13g】

ミソサザイの仲間は世界中にいて、日本にも世界にもミソサザイが出てくるお話があります。また、ミソサザイは冬の季語にもなっており、多くの俳句や短歌が詠まれています。昔から人に親しまれている小鳥だったのでね。 みそさざい ちっといふても 日の暮るる / 一茶

地鳴きが似ている ウグイス

なんだか似ているけれど、どこが違う？

ウグイス



ホーホケキョっは「さえずり」。「地鳴き」は、**笹鳴き**とも呼ばれ、笹の中で♪「**ぢゃっぢゃっ**」と鳴きます。ミソサザイと似ていますが、よく聞くとミソサザイの方がやや高い音。ウグイスの方が少し濁った音のような気がします。ササ藪から声がしたらじっくりと聞いてみまし

【レンジャー：黒川周子】

* 日本昔話では「ミソサザイは鳥の王様」、グリム童話では「ミソサザイと熊」というお話があります。また、日本書記にもミソサザイが漢名「鶇鶇」で、表記されています。

* 由来：みぞ（溝＝小川）がミソになり、古名「ササ（小さい）キ（鳥）」がサザイに転じる。「小川にいる小さな鳥」の意。

1月の生物ごよみ

観察の森周辺でみることができる野鳥たち②

12月から始めた野鳥の餌台もおおいににぎわい始めました。先月に続き今月も観察センター周辺でみることができる野鳥たちをまとめてみました。

| 名前 | 大きさ / 季節 | 特徴 | 出会い度 |
|---|-----------------|---|------|
|  ヒガラ | 11cm / 漂鳥 | 黒い冠羽と白い頬が特徴。シジュウカラなどほかの鳥と混ざって行動することがある。太白山周辺の松林でよく見かける。 | C |
|  コガラ | 13cm / 漂鳥 | 黒いベレー帽をかぶったように見えるのが特徴。太白山では混群にまれに混ざっていることがある。 | D |
|  コゲラ | 15cm / 留鳥 | キツツキの仲間で背中のみだら模様が特徴。太白山でみられるキツツキの仲間では一番小さい。オスは頭部に赤い羽根があるがなかなかみることができない。「ギィ」と濁った声で鳴く。 | A |
|  ツグミ | 24cm / 冬鳥 | 胸の黒い模様や赤茶色の翼、白い眉班が特徴。センター周辺や市街地の公園などでもみることができる。餌台にもまれにやってくる。 | C |
|  キクイタダキ | 10cm / 漂鳥 | 日本の鳥で最小の小鳥。重さは5g程度しかない。スギ林などで小さな虫をとっている姿を見ることができる。頭の黄色い部分の中央に赤い羽があるのがオスだがなかなかみることができない。 | C |
|  アトリ | 15cm / 冬鳥 | オレンジ色の胸が特徴。群れで行動する。よく餌台にもやってくるが全くやってこない年もある。 | B |
|  ウソ | 14cm / 冬鳥 漂鳥 | 頭が黒く、オスは赤い喉が特徴。メスは赤くない。小さな群れで行動する。センターでもたまに群れに会うことがある。 | D |

※冬鳥 越冬のために日本より北の国から渡ってきて、冬を日本で過ごし、冬が終わると再び繁殖のために北の国に渡って行く鳥。

※留鳥 年間を通して同じ場所に生息し、季節による移動をしないもの。

※漂鳥 暑さや寒さを避けるため夏は山地、冬は平地というように繁殖地と越冬地を区別して日本国内を季節移動する鳥。

※出会い度 高いS→A→B→C→D低い

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思ひます。

はっけんメモ その8『ヒメコウゾで和紙をつくってみる』

葉もすっかり落ちきって、森の中は明るく歩きやすくなりました。冬枯れの枝の先をよく見ると、来春の芽吹きに備えて、ちゃんと冬芽が出来ています。

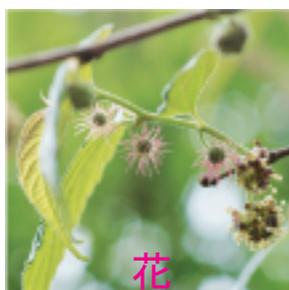


左の2枚の写真はある植物の冬芽を正面と横から写したものです。見覚えはありますか？

もちろん観察の森の中にもありますよ。

正解は・・・・・・・・・・「ヒメコウゾ（姫楮）」

右の写真はヒメコウゾの花と実。花は雌雄別々に咲きます。ピンクのイソギンチャクのように見えるのが雌花。隣りにある薄黄色のつぶつぶがついている方が雄花です。夏に熟す橙色の実を食べられますが、口の中がイガイガするのでご注意を。



「コウゾ（楮）」、「ミツマタ（三股）」は白くて強い繊維をもつので、和紙の原料としてよく知られていますね。去年の11月、手漉き和紙技術がユネスコの無形文化遺産に登録されたことも記憶に新しいのではないのでしょうか。先に紹介したヒメコウゾはコウゾの原種で、野山で見かけるものはほとんどがヒメコウゾ。12月、1月は和紙の原料となる植物の刈取りシーズンなのだそうです。



ヒメコウゾでも和紙を作ることができるそうなので、試してみました。枝から皮を剥がし、黒い皮を取り除き、柔らかく煮た木の皮を棒で叩いてほぐします。出来上がった繊維を水とよく攪拌し、木枠に網を張ったもののですくいます。

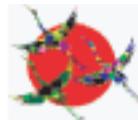
それを乾燥させたら手作り和紙の出来上がり。繊維を均一にすくうのは難しく、皮の一部やゴミが残ってしまいました。水の中に繊維がまんべんなく広がるように、トロロアオイやノリウツギなどの植物からとれる成分を加えるそうなので、それらを加えて再挑戦してみようと思ひます。 【レンジャー：河合 遥】



※コウゾはヒメコウゾとカジノキの交配種。一部地域では栽培していたものが野生化しているそうです。
※実際の手漉き和紙には、もっとたくさん手順があり、品質の良い丈夫な和紙が生産されています。



新人レンジャーの巡回日記



新年、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願い致します。みなさん、今年の初夢はもう見ましたか？初夢で縁起の良いものの例えとして一富士二鷹三茄子と言われていますが、今回は、その中から私が実際に見つけることができた縁起の良いものについて、ご紹介します。



オオタカがいました。

自然観察の森にある、たくさんの木々も、ほとんどが葉を落としてしまい、寒さを一層感じさせる季節となりました。それでも、木の葉が落ちたことで、今までは、鳴き声しか確認することができなかった野鳥の姿を巡回中にも多く観察することができるようになりました。そんなある日の巡回中に、オオタカが小鳥の森の枯れ木に止まり、羽繕いをしている姿を私は初めて確認することができました。さすがに鳥の王者と呼ばれるだけあって鋭い目つきをしながらも、その姿は、とても悠々として貫禄がありました。観察の森は、これから、雪も積り、寒さも厳しさを増していきますがオオタカのように、普段あまり見掛けない野鳥や、動物の足跡等、この季節ならではの自然観察をみなさんにも是非、楽しんでいただきたいと思います。



羽を開くと100cm～
130cm位になります。



12月13日（土）に「おはよう野鳥かんさつ」が行われました。6月に行われて以降、久しぶりの開催となりました。当日は、寒い日だったにも関わらず、早朝からたくさんの方にご参加いただき、19種類の野鳥の観察を楽しむことができました。今回講師の竹丸氏からは、野鳥の種類に加えて、巣の作り方や形の特徴等についての説明もしていただき、充実したイベントとなりました。

※イベントによっては、申し込みが必要なことがありますので、詳しくは、「イベントのお知らせ」でご確認下さい。

【レンジャー：鷺 千尋】



1月のイベント&お知らせ

◆女性向け「草木染め体験」

・森の植物を使い、草木染めのすてきな作品を作ります。

日時：1月25日（日）午後1時～4時

持ち物：汚れても良い服装で 費用：300円（材料代）

定員：10名〔先着〕

申込み：1月7日（水）午前9時より電話で

◆「フィールドサイン観察会」

・冬の森の中で生きる動物たちの生活サインをさがします。

日時：1月31日（土）午前10時～11時半

持ち物：寒くない服装で 費用：無料

定員：20名〔先着〕

申込み：1月8日（木）午前9時より電話で

◆「小鳥のレストラン」を開いています！ 3月31日（火）まで。

・えさ台に集まる野鳥を、あたたかい部屋の中から観察できます。

◆12月から3月まで冬季のガイドウォークは午前1回です。

・冬季（12月から3月まで）は午前10:00～11:30のみの開催となります。お間違いのないようお越し下さい。



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

1月の開催日は
11日、18日、25日です。

開催時間：午前 10:00～11:30

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね！
レンジャーからのプレゼント
があるよっ！

1月の休館日

年始（1日～5日）、13日、
19日、26日

建国記念日
1月12日（月）は
開館しています。

♪森へおいでください♪



宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



スタッフBLOG開始しました！

自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック！

「社のひろば」URL：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2015年1月号（毎月1回5日発行）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp